

ふくしだより



平成30年度住田町社会福祉大会・第11回老人クラブ大会『大樹祭』が11月4日、住田町農林会館を会場に開催されました。たくさんの方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。
写真は坂本クラブの皆さんによる踊り『りんごの唄』。元気なりんご娘たちに会場は大盛り上がりでした！



東峰クラブの皆さんによる踊り『雨の思案橋』。流麗な踊りが披露されました。



外館クラブからはご夫婦で歌『旅の夜風』を披露されました。伸びやかな歌声はのど自慢級！

社会福祉法人 **住田町社会福祉協議会**

岩手県気仙郡住田町世田米字川向96-5
TEL 0192-46-2300 FAX 0192-46-2321



おらほの事業所

- ◆ 居宅介護支援事業所
- ◆ 訪問介護事業所 / 訪問入浴介護事業所
- ◆ アンルス通所介護事業所
- ◆ デイサービスセンターとだて
- ◆ グループホームかっこう

- 世田米字川向 96-5 TEL 0192-46-2300
- 世田米字川向 96-5 TEL 0192-47-3357
- 上有住字和田野 12-5 TEL 0192-48-3300
- 下有住字十文字 89-2 TEL 0192-47-3104
- 下有住字十文字 89-2 TEL 0192-47-3103

平成30年度住田町社会福祉大会 大樹祭

第11回住田町老人クラブ大会

平成30年度住田町社会福祉大会・第11回住田町老人クラブ大会『大樹祭』を11月4日、住田町農林会館で開催しました。

本大会は、町民総参加による地域づくりを推進することを目的とし、社協と老人クラブ連合会が主催となり、3年ごとに開催されています。今回は「町民一人ひとりが主役 福祉のまちすみた」をテーマに、地域福祉活動計画の基本理念である「住み慣れた地域で 共に支え合い 安心していきいきと暮らせる 福祉のまちづくり」をめざして開催されました。

午前の部では各種表彰、福祉作文コンクール最優秀作品の発表、福祉機器の贈呈が行われました。今回、新たに福祉写真コンクールを設け、入選作品の表彰と応募作品13点の展示を行いました。どの作品もやさしさと笑顔にあふれた素敵な写真でした！

その後の記念公演では、ものまね歌手のカマダセイコさんによるコンサートが行われ、歌謡曲や演歌など、往年の名曲のものまねを披露されました。ご来場の皆さんはその歌唱力に聴き入り、ものまねに大いに笑い、コンサートは大盛況となりました。

午後の部では単位老人クラブの皆さんによる芸能大会が開催され、町内13の老人クラブの皆さんによる歌や踊り、詩吟や手品など多彩なステージとなり、こちらも大いに盛り上がりました。最後に参加者、スタッフ総出で恒例の『住田音頭』を踊り、閉会となりました。



【福祉写真コンクール入選作品】



住田町社会福祉協議会会長表彰

社会福祉功労

水野 覺様 宮崎 セイ子様 佐々木 初 雄様
 3期9年にわたり、民生児童委員を務め、地域福祉活動に貢献されました。
 泉 金 一様 泉 祐 一様
 長年にわたり、障がい者福祉の向上に寄与されました。

褒 賞

水野 徳也様 佐々木 ミイ子様 吉田 ミツ子様
 菊池 久太様 千葉 かよ子様 中沢 文子様
 在宅において、長年にわたり献身的に家族の介護に携わりました。

感 謝

住田町グラウンドゴルフ協会 様
 町内大会におけるホールインワン募金を長年にわたり寄付していただきました。

福祉写真コンクール入選

最優秀賞 菅野 久様 『ひ孫の笑顔が一番幸せ』
 優秀賞 泉田 幸子様 『一番輝く95歳』
 優秀賞 すみた荘「かりん」ユニット様 『ふれあい』

福祉作文コンクール入選

- ◆小学校低学年の部
 - 最優秀賞 柳 田 真 瑚様 『だいすきなひいばあ』
 - 優秀賞 佐 藤 飛 鳥様 『ふくしの知っていること、知りたいこと』
 - 優秀賞 水 野 心 陽様 『こままわしのせんせい、じじ』
- ◆小学校高学年の部
 - 最優秀賞 大 村 夏 鈴様 『みんな同じ』
 - 優秀賞 畑 中 琉 真様 『福祉について』
 - 優秀賞 佐々木 理 紗様 『おじいさん、おばあさんの笑顔』
- ◆中学校の部
 - 最優秀賞 菊 池 真 衣様 『日本を優しさあふれる国へ』
 - 優秀賞 伊 藤 楓 花様 『障がい者への気持ちの変化』
 - 優秀賞 小 松 春 美様 『理想の町を目指して』
- ◆高等学校の部
 - 最優秀賞 佐々木 美 月様 『私が将来の夢を見つけたきっかけ』
 - 優秀賞 岡 澤 惟 亜様 『福祉について』
 - 優秀賞 村 上 輝 様 『人の命について考えてみると』

住田町老人クラブ連合会会長表彰

功 労

〈喜楽会〉 多 田 清 吾 様
 〈曙クラブ〉 佐 藤 ヒデ子 様
 金 野 礼 子 様
 大 橋 トクノ 様
 高 橋 恵 子 様
 〈下在寿クラブ〉 大和田 国 清 様
 大和田 賢 男 様
 〈悠々クラブ〉 菊 池 隆 子 様
 菅 野 長 治 様
 〈東峰クラブ〉 高 木 忠 男 様
 〈川口クラブ〉 菊 池 義 勝 様
 〈大股紅葉会〉 菊 池 和 夫 様
 〈中井クラブ〉 菊 池 ミ ネ 様
 〈火の土クラブ〉 千 葉 龍 男 様
 〈月山クラブ〉 佐々木 清 様
 〈恵山クラブ〉 佐々木 等 様
 成 田 繁 治 様
 〈坂本クラブ〉 小 山 正 昌 子 様
 菊 池 力 子 様
 中 野 力 子 様
 〈五葉クラブ〉 紺 野 寿 美 様

感 謝

〈悠々クラブ〉 瀬 川 カツノ 様
 〈東峰クラブ〉 山 内 陽 子 様
 佐々木 フサ子 様
 〈川口クラブ〉 高 木 勇 一 様
 〈両向クラブ〉 水 野 昭 雄 様
 水 野 キミ子 様
 〈天嶽クラブ〉 熊 谷 虎治郎 様
 〈五葉クラブ〉 紺 野 ミヨシ 様
 紺 野 サト子 様

福祉機器の贈呈

住田ライオンズクラブ様より鳴瀬会、社協へ福祉機器を寄贈していただきました。



小学校
低学年の部

『だいすきなひいばあ』

世田米小学校 1年 柳 田 真 瑚



わたしには、八十四さいになるひいばあがいます。ままとばあばは、いつもおしごとについているので、わたしは、おうちにかえってくると、ひいばあといっしょにいます。

ひいばあは、いつもいっしょにあそんでくれます。いえのなかでかくれんぼをしたりおりがみをおったりしてあそびます。ひいばあは、おはじきがじょうずです。おはじきをはじいてとばすめいじんです。このまえおはじきであそんだとき、わたしがまけてしまいました。「くやしいな。」とおもっていたら、ひいばあは、

「まこ、がんばって。」

と、わたしがかつまでなんどもあそんでくれました。わたしは、「ひいばあはやさしいな。」とおもいました。

ひいばあは、八十四さいだけどとってもげんきです。はたけにいてやさいのたねをまいたり、くさとりをしたりして、いろいろなやさいをそだてています。

このあいだは、トマトやピーマン、ズッキーニをはたけからとってきてくれました。ひいばあがつくるやさいは、わたしをげんきにしてくれます。「こんどは、わたしがおりょうりして、ごちそうしたいな。」とおもったので、わたしはままとばあばといっしょにやさしいためとおつゆをつくりました。みんなでつくったおりょうりをたべたら、ほっぺたがおちそうなくらいとってもおいしかったです。ひいばあが、

「とてもおいしいよ。またつくってね。」

と、よろこんでくれたので、とてもうれしかったです。

ほかにも、がっこうのじゅんびをいっしょにしてくれたりします。わたしは、ひいばあといっしょにいるじかんがとても好きです。

だいすきなひいばあ、これからもずっとずっとげんきでいてね。



小学校
高学年の部

『みんな同じ』

世田米小学校 6年 大 村 夏 鈴



私のおじいちゃんとおばあちゃんは、東京に住んでいます。去年のお正月に、おじいちゃんとおばあちゃん、親せきに会いに東京へ行きました。私達を笑顔で迎えてくれたおばあちゃんは、私と妹にプレゼントを二つくれました。一つは、白いかばんです。かばんのすみに、にんじんとブロッコリーが描いてあります。とてもかわいかばんです。二つめは、糸で編んで作った花のヘアピンです。このヘアピンをわたしてくれるときに、おばあちゃんが、

「これは、一つのこと集中して取り組めなかったり、上手に話ができなかったりする障がいのある人達が作ったんだよ。」

と教えてくれました。私は、一つのこと集中して取り組めなかったり、上手に話ができなかったり

する障がいのある人が一生けん命にこのヘアピンを作っているところを思い浮かべました。こんなに細かい作業をして、こんな素敵なヘアピンを作ってくれたのです。そう思うと、おばあちゃんにもらったこのプレゼントが、なんだかすごいものに思えてきました。これを作ってくれた人は、障がいがあっても自分の力で一生けん命お金をかせいでいるのだと思います。作ったものは手作りのあたたかみを感じました。

私は、障がいのある人と関わったことがあります。それは、三陸国際芸術祭でおどったときです。そのとき、障がいのある人達の団体「かたつむり」と一緒におどりました。「かたつむり」のみなさんは、曲が流れるとすぐにノリノリになり、いっしょにおどっても見ているだけでも、まわりを楽しんでくれます。テンションも高く、私もおどっていて楽しい気分になりました。休けい時間は、おんぶしてもらったり、おしゃべりをしたりしました。とても楽しい時間をすごしました。

ほかにも、おばあちゃんの家には、障がいのある人が作ったものがあります。おばあちゃんはどれも大切にしています。

「どれにしますかって聞かれると、かわいそうで、つつい買っちゃうの。」と、おばあちゃんは言いました。だけど、私はそうは思いません。それは、障がいのある人達が、とても元気があって、明るくすごしていることを知っているからです。上手に話ができなくても、私と同じです。楽しく遊んだり、おどったり、笑ったりしています。だから、かわいそうなだけではないと思います。

私は障がいのある人達が「かわいそう」と思われてはいけない、区別されてはいけないと思います。でも、おばあちゃんがかわいそうと言ったとき、「かわいそうなんじゃないよ」と、自分の思いを伝えることができませんでした。これから、「かわいそう」と言う人がいたら、「障がいのある人達は、とてもパワフルで明るくすごしているんだよ。だから、私達と同じだよ。」と言いたいです。障がいのある人達のことだけでなく、すべての人達がみんな同じで、区別されない社会になっていくことを目指したいです。



中学校の部

『日本を優しさあふれる国へ』

世田米中学校 1年 菊池真衣



今、日本はさまざまな問題をかかえている。差別やいじめ、環境の変化。その中でも私が興味をもったのは、福祉についてだ。私が福祉に興味をもったきっかけは、母が高齢者の介護施設で働いていることだった。何度か母の働いている介護施設にいき、働いている様子を見たり、手伝ったりしている。そんな中正直、私はちょっとめんどくさいと思っていた。また、母はこんな仕事をしていて楽しいのだろうか、と思うこともあった。

なぜなら、私が手伝いにいったとき、いつも友達と関わる時の言い方や動きでは伝わらなかったり、何と言っているか分からなくて話が続かなかったりしていたからだ。どうやって関わればいいのか分からなくて困っていた。だから私は、いろいろな人に迷惑をかけてしまうと思って、悔しくてにげてしまうことがあった。今まで私は「差別」という言葉を聞いて生きてきた。なぜ、人はそんな差別というひどいことをするのだろうか。そう思っていた。だが、もしかしたら自分も知らないうちに差別をしていたのかもしれない。高齢者の中で耳が聞こえないだとか、うまく話すことができないだとか。そんな人達を、関わり方が分からないというだけの理由でさけていたのかもしれない。知らないうちに傷つけていたのかもしれない。一人になってよく考えてみた。もし自分がそんな高齢者の立場だったら。自分の孫、ひ孫の年齢の子が自分をさけて、話してくれなかったら。そうだったら、とても悲しい気持ちになるだろう。すごくがっかりするだろう。そんなことを考えていたら、今までの自分が

とてもはずかしくなり、申し訳ない気持ちになった。私はこんな自分を変えるために、仕事の仕方を施設の人に教わったり、高齢者の人達と粘り強く話してみたりした。失敗したり、できなかつたり、何度も何度も心が折れそうになった。けれど、自分が変わろうとしなければ変わらない。そう思い一生懸命がんばった。そして、その仕事をやりきった後、みんなの役に立つことができたとうれしい気持ちになった。今でも日本には、私のように自分と違うところがあったり、障害があるだけで人を差別する人がいる。この現状を変えなければこれからも、差別が絶えることはないだろう。だからこそ、福祉ということはとても大切なのではないだろうか。今、日本では高齢化が進んでいる。そんな中、福祉は自分には無関係だと思っている人がいることはいけないことだと思う。そんな考えをする人がいるからこの世は変わらないのだ。私は一度母にこの仕事をしていて楽しいのかと聞いてみた。すると、お年寄りの人と話すのが楽しい。仲間と一緒にがんばれるのが楽しい。いつだって忙しいけど、この仕事ができると楽しいという答えが返ってきた。おそらく、こう思っているの母だけではないだろう。あの介護施設で働いている人はみんな私が聞いたら母と同じことを言うだろう。なぜなら、いつだってあの人たちはいきいきして楽しそうだったからだ。こんな風に考え、行動する人がもっと増えればこの世界は変わっていくだろう。これからの私達に必要なことは、高齢者や障害者との関わり方について学ぶことだと思う。なぜなら、今、日本では高齢者との関わり方について分かっている人が少なく、高齢者や障害者についての知識が少ないからである。関わり方がわからなければ、どんなに高齢者や障害者を助けようと思っても行動することができない。だからこそ、高齢者や障害者との関わり方について知っておかなければならないと思う。学校の授業で福祉について学んだり、友達や先生、家族と話し合ったりすれば、自然と自分の知識となり、福祉に興味を持つ人も増えるだろう。そんな人が増えれば相手を思いやることができる、優しい世の中になるだろう。

今、日本では高齢者や障害者の暮らしやすい社会をつくる取り組みが行われている。高齢者が動きやすい環境や、介護ロボットなど便利なものが作られたりしている。これによって、日本は高齢者や障害者が住みやすい世の中に少しずつ変わってきている。こんな日本をもっと良くするために、もっと人々が福祉について考えれば良いのではないか。日本中、世界中が意識すれば、もっと良い世界になっていくと思う。そのため今、私がやるべきことは、自分でできることを精一杯行い、周りをよく見ることだ。もっともっとこれからの社会を良くするために福祉はとても大切なものであり、日本の未来を大きく変えるものと私は思う。



高等学校
の部

『私が将来の夢を見つけたきっかけ』

住田高等学校 1年 佐々木 美月



みなさん、福祉と言ったら、どんなイメージをお持ちですか。ボランティア、それとも老人の介護。ほかにもたくさんイメージを持つと思います。私が一番最初に思いついたのが、今は亡くなった祖父の介護のことです。祖父は私が物心ついたときから入退院をくり返し、車イスに乗っていました。私は、祖父が大変なことを知らず、また、小さかったこともあり、祖父のじゃまをしたり、祖父の車イスに乗ったり、祖父のベッドで兄と遊んだりと楽しんでいました。いつもにこにこ笑ってる祖父に甘えていたというのもあると思います。裏では痛みに対する辛さと自分の身体がうまく動かないという葛藤もあったはずですが、一つ一つできないことが増えてくるたびに、とても悔しそうな顔をする祖父に、私は気づきながらも祖父の気持ちまでは気づくことができませんでした。私が小学校に入るころには祖父の病気も進行していました。でも、祖父のためにヘルパーが来ることになったおかげもあり、昔は車イスでしか移動できなかったはずの祖父がトイレまで歩いて移動できるようになるなど、

自分でできることも増えてきたのです。服をたたんだり、スプーンとフォークを使って食事したりもできました。私はその頃から、祖父の病気が大変だということに気づきました。そこで、スプーンを持ちやすいようにスプーンの持ち手部分にスポンジを巻きつけたり、家のほとんどを車イスで移動する祖父のために段差をなるべく減らしたくて、木を使って祖父のための物を作ったりと、祖父のことを考えるようになりました。そうすることで祖父の生活しやすい環境を作ろうとしたのです。そのせいか、祖父の顔にも笑顔が増え、私も嬉しくなりました。でも、たとえ祖父の笑顔が増えたとしても、小学生の私にできることはかぎられてしまいます。遠くから、親がしていることを見ることしかできません。私は、とても悔しくて泣くこともありました。そんなとき、私の将来を左右する出来事に出会えました。それは、テレビ番組の介護福祉士の特集でした。私はそれまで、介護福祉士という仕事は少しも知りませんでした。この時から、介護福祉士という仕事に興味を持ち始めました。小学校にある介護福祉士に関する本を片っぱしから読んでいき、介護福祉士は高齢者や身体障害者など日常生活に支障のある人の介護や、介護にあたる人への指導にたずさわる仕事であり、私が望んでいた仕事だと感じました。それがきっかけとなり、現在私は介護福祉士の仕事に就きたいと考えています。まさか、将来の夢につながることになるとは考えていない当時の私はとにかく、祖父のために一生懸命でした。祖父が困っているときは助けられるように何でも出来るようにならなくては行けないと、親に手伝ってもらいながら、まずは茶碗洗いができるようになり、次にお風呂掃除、その次に洗濯物干しと小学校を卒業するころには親に手伝ってもらわなくても自分でできるようになっていきました。そして、そのおかげか祖父も困っているときは私に相談してくれるようになり、頑張っただけでよかった、祖父の力になれたと嬉しくなりました。それからは、車イスを押ししたり、祖父が髪を切りに行く日の移動を手伝ってあげたりと、祖父の手伝いをたくさんしました。そのたびに、祖父が笑顔で「ありがとう。」と言ってくれるので、祖父の力になれてよかったと思いました。

でも、中学校に上がると小学校にはなかった部活が増え、また、勉強も小学校より難しくなるので、祖父の手伝いができなくなっていきました。というより、心のどこかで（めんどくさい）と思うようになったのも一つの原因だと思います。そんなことを思ってしまう自分も嫌でそう考えている自分の心を見られなくて祖父に背を向けてしまいました。徐々に祖父との距離が離れていき、申し訳なさで顔も見られなくなっていきました。

そんなとき祖父の病気も悪化してしまいました。私は祖父に手紙を書き、キーホルダーを作りました。ごめんなさいの気持ちを込めて、一文字一文字言葉を選び書きました。手紙とキーホルダーを渡したときの祖父の笑顔は今でも私の宝物です。この祖父とのことをきっかけに、私はたくさんのことを感じ、学びました。自分の気持ちだけではない相手の気持ちを考え寄り添ってあげること、介護することはめんどくさいと思ったりしたとしても笑顔でいなくては行けない大変な仕事だということ、でもその分たくさんのやりがいを感じることができると、そして、私は人のためになる介護福祉士の仕事に就きたいと思ったことです。祖父が亡くなったとき、一度は介護福祉士になるという夢を止めようとしたときがあります。でもその時、不意に私の頭の中に祖父の「ありがとう」と言った笑顔が浮かびました。そして決めました。私はたくさんの困っている人を笑顔にしてあげたい、そのために介護福祉士になりたいと。まだなれるかどうか分かりませんが、挑戦したいと思います。今の世の中は少子高齢化が進んでいて、老人の割合が多いにもかかわらず、介護する側の人不足が問題になっています。そのため、多くの人に介護することの大切さを広めていきたいと思っています。そして、祖父のように困っている人がいたら、私のやり方で助けてあげたい、見て見ぬふりをせず、寄り添ってあげるそんな生き方をしたいと思っています。今はまだ、自分に足りないところもたくさんあると思いますが、持ち前の明るさを生かして、頑張っていきたいと思っています。





赤い羽根共同募金運動

(10月1日～12月31日)



赤い羽根共同募金運動では、行政連絡員さんを通じて、町民の皆様より戸別募金を、また町内98の事業所様からも、たくさんの募金を頂戴いたしました。他にもイベント募金として、ゲートボール大会やグラウンドゴルフ大会、すみた産業まつりでも募金のご協力をいただきました。

お寄せいただいた募金は全額岩手県共同募金会に送金され、その後社協を通して、各小中学校や福祉団体、ボランティア団体等へ助成され、ふれあいサロンなどにも役立てられています。

平成30年度赤い羽根共同募金額

(単位：円)

募金の種類	募金金額
戸別募金 (1,762世帯)	880,800円
法人募金 (98事業所)	632,000円
職域募金 (14件)	60,871円
個人募金 (2件)	10,416円
イベント募金 (3回)	136,819円
その他の募金 (2件)	14,691円
合計	1,735,597円

取りまとめにご尽力いただいた行政連絡員、班長の皆様に心より感謝申し上げます。



赤い羽根共同募金にご協力いただいた事業所様

～心より感謝申し上げます～

曙電業社	(有) ありす畜産	(有) 泉林業	泉田薬店	イワタニケンポロー(株)
岩手銀行世田米支店	岩手県南運輸(株)住田営業所	(株)いわて清流ファーム	岩手日報住田センター	(株)ウッティけせん
(有) 江刺屋林業	(有) 遠藤モータース	及川商店	(有) 及川農園	大船渡市農業協同組合世田米支店
(有) 大村林業	お菓子工房 eat+(イトプラス)	(株)神奈川精工岩手工場	(有) 川村鉄筋工業	菅野歯科医院
菅野豊店	(有) 菊池組	(有) キクチ自動車整備工場	(有) 菊池製材所	菊池久子理容店
クマガイ電化サービス	(有) クローズ	ケーキ&フーズイマノ	気仙川漁業協同組合	気仙タクシー住田営業所
気仙地方森林組合	けせんプレカット事業協同組合	(有) けせんホーム	興成商事(株)	黄金屋給食センター
斎藤機械店	(株) 齊藤工業	サロンド・ココ	(有) 坂井建設	(株)サキヤマ住田営業所
ササキ自動車工業(有)	佐々木鉄工所	佐々木林業	(有) 佐々長製材所	佐藤施工
(有) 佐藤木材	(有) 参興電設	すがむら理容所	(一社)SUMICA	住田岩崎整骨院
すみた印章	寿美多うおまさ	住田観光開発(株)	(合) 住田交運	住田住宅産業(株)
(有)住田食品加工センター	住田町商工会	住田生コン(有)	住田フーズ(株)	(株)住田ブロック建設
住田ルーフ(有)	(有)高橋自動車整備工場	(有) 高橋旅館	多田商店	千葉工業
東海精密工業(株)	東峰建設(株)	中館工務店	南部屋	(有) ハーネット
(有) 八兆屋	ピクアジュネティクス(有)	(株)火の土左官工業	ひらさか美容室	ファミリーショップさとう
企業組合フォレストクラブすみた	(有) 藤井組	ヘアサロンカワグチ	松嶋家	(有) 松田林業
味噌屋 麵 太	みちのくクボタ(株)気仙店	三晴工務店	(一社)未来かなえ機構	(有) 村健塗装
(有) 森谷材木店	山一建設(株)	(有) 山崎工業	やまさ海苔問屋	(一社)邑サポート
(有) 横沢儀商店	横沢歯科医院	(有) 吉田工務店	吉田書店	吉田石油
ローソン岩手住田町店	ローソン住田世田米店	(株)ワークS・H・T		

(敬称略、50音順)

赤い羽根共同募金運動 イベント募金

赤い羽根共同募金運動に合わせ、町内のさまざまなイベントでの募金活動を行いました。

10月28日に開催された『住田町文化・産業まつり』に合わせ、有住・世田米両中学校の生徒さん達にも協力していただき、募金活動を実施しました。

当日は晴天の下、生徒さん達の元気な声掛けに、募金にご協力いただいた方々も笑顔がこぼれていました。生徒さん達には赤い羽根共同募金についての簡単な講座も行い、募金運動への理解を深めていただきました。

この日は500円以上の募金をいただいた方に対し、岩手県共同募金会作成の『ラガーそばっちピンバッジ』や住田町共同募金委員会特製の『輪っこちゃんバッジ』を進呈し、とても好評でした！



ゲートボール大会の様子



また、赤い羽根共同募金協賛社協会長杯として、10月9日に第32回ゲートボール大会、10月11日に第13回グラウンドゴルフ大会が開催されました。

両大会は、参加費を赤い羽根共同募金運動への協賛金としていただきながら、共同募金への理解を深め、健康保持と生きがいつくり、参加者同士の親交を深めることを目的としています。参加された方々はお互いに声を掛け合いながら、元気にプレーを楽しみ、日頃の練習の成果を発揮されていました。



グラウンドゴルフ大会の様子

平成30年災害義援金募金活動

住田町共同募金委員会では、平成30年「大阪府北部地震災害」「米原市竜巻災害」「7月豪雨災害」により被害を受けられた方々を支援するため、7月2日～8月3日まで町内の事業所7か所に募金箱を設置し義援金を募り、総額52,860円の募金をいただきました。また、「北海道胆振東部地震災害」においても、9月14日～10月31日の間、同様に募金箱を設置し、加えて有志の方々からの寄付を合わせ、総額62,000円の募金をいただきました。

皆様からお預かりした義援金は岩手県共同募金会を通じ、各県の配分委員会へ全額送金させていただきました。

皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



住田町老人
クラブ連合会

第47回大名湯治の会

平成31年 1月23日(水)～25日(金) 参加者募集中!!



住田町老人クラブ連合会の冬の
大イベント、大名湯治の会が開催
されます。皆さん、お誘い合わせ
のうえご参加ください。(*_*)

※お申込みは、各単位クラブにて取りまとめを
お願いしております。

※お申込み締切りは、1月7日(月)となっています。

【お問い合わせ先】住田町社会福祉協議会 (☎46-2300)
事務局 佐藤まで

(株)小田島様より車イスの寄贈

株式会社小田島(代表取締役 小田島欣一郎)
様より社協へ車イスを寄贈していただきました。
会社設立70周年を迎えるにあたり、地域の方々へ
長年の感謝の意を表するため、岩手県社会福祉協
議会に対し100台寄贈されたもののうち、本会へ
3台贈呈されました。

いただいた車イスは、町民の皆さまが広く利用
できるよう、一時的に車イスが必要な方へ無料で
貸し出すためのものとし、大切に使用させていた
だきます。



生活福祉資金のご案内

生活福祉資金は、他の貸付制度が利用できない低所得世帯や障がい者世帯等に対して、
無利子や低利子で資金を貸し付けることにより、経済的自立と生活の安定を目指すものです。

資 金 種	借 入 ケ ー ス
総合支援資金 生活支援費、住居入居費、一時生活再建費	<ul style="list-style-type: none"> ・就職するまでの当面の間の生活費が足りない。 ・公共料金を滞納し、ライフラインが止まってしまう。
福祉資金 福祉費	<ul style="list-style-type: none"> ・技能資格をとりたい。 ・在宅医療・介護のために住宅を改修したい。
緊急小口資金	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費や介護費など、臨時の生活費が足りない。
教育支援資金 教育支援費、就学支度費	<ul style="list-style-type: none"> ・進学(高校、短大、専門学校、大学等)したい。 ・授業料や通学費用、家賃代が足りない。

●ご利用される場合の注意点

- ※連帯保証人が必要です。保証人を立てられない場合も申請はできますが、利子が加算されてしまいます。
- ※母子寡婦福祉資金等、他の公的貸付制度に該当される世帯は、原則としてそちらが優先となります。
- ※申請から貸付まで1ヶ月以上かかる場合がございます。また、申請には所定の手続きがありますのでお早目のご相談をおすすめします。

大股地区買い物ツアーモデル事業を実施しました

スマイルおおまた大股地区振興協議会と社協が協力し、大股地区買い物ツアーモデル事業を実施しました。地区内の高齢者世帯や障がい者等を中心とする、自家用車などによる外出が不自由な方を対象に支援するためのものです。



当日はスマイルおおまた事務局である大股地区集落支援の紺野さんと社協職員の2名が案内し、参加者2名とともに世田米商店街を中心に買い物を行いました。参加者からは、「自分で手に取って選べる楽しさがあり良かった」「誰かとわいわい話しながら買い物するだけでも楽しい」などの声をいただきました。

今後も月2回程度を目安に買い物ツアーを実施していく予定です。今回はモデル事業としての実施のため、結果を踏まえながら、よりよい事業にするために検討を重ねていくこととしています。

無料法律相談(予約制)

社協では、毎月弁護士による無料法律相談(予約制)を行っています。法律に関するお悩み、ご相談をお伺いします。お気軽にお問い合わせください。



■相談日程

1月16日(水)
2月14日(木)
3月29日(金)

- ◆予約制です。下記まで事前予約してください。
- ◆個室にて相談にあたりますので、第三者に相談内容が漏れることはありません。
- ◆お問い合わせ先
住田町社会福祉協議会 (☎46-2300)



24時間TV チャリティー募金のご報告

8月26日(日)に旧JAおおふなと「ふれあいセンター」前にて24時間テレビ『愛は地球を救う』チャリティー募金活動を行いました。

皆様のご協力により、総額183,777円の募金をいただきました。いただいた募金は福祉や環境保護、災害復興支援に役立てられます。

皆さまのご協力本当にありがとうございました。



生活のお困りごとについてのご相談は…

ニニカセンター

☎0192-27-0001

(大船渡市Y・Sセンター内)

社会福祉法人 大船渡市社会福祉協議会

開設時間 8:30~17:00 (時間外は携帯電話対応)
080-9257-7244 / 080-9257-7245

開設場所 大船渡市Y・Sセンター内
(大船渡市立根町字下欠125-12)
大船渡市総合福祉センター 地下1階
(大船渡市盛町字下館下14-1)

『大樹祭』 芸能大会のアルバム

大樹祭芸能大会の様子をご紹介します！皆さんとっても素敵でした！



喜楽会『花笠音頭』



八日町クラブ『懐かしの歌を踊ろう』



川口クラブ『大黒舞』



悠々クラブ『詩吟』



恵山クラブ『星のフラメンコ』



小股老人クラブ『手品』



曙クラブ『これから音頭』



火の土クラブ『お祭りマンボ』



両向クラブ『神輿』



天嶽クラブ『うれしき舞』



このふくしだよりは、皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。